

総務産業委員会報告書

平成29年2月16日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

委員長 山本恒道

平成29年2月16日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	備 考
1 商工業についての調査研究 ① 委員派遣について	継続調査	—

<報告事項>

- 国家賠償請求控訴事件の判決内容について（秘書広報課）
- 伊里駅駐輪場整備工事について（危機管理課）
- 備前市過疎地域自立促進計画の変更について（企画課）
- 企業との連携協定の締結について（企画課）
- 字、区域名称変更について（まち営業課）
- 畠田香登西企業団地の造成工事の変更について（まち営業課）
- 市有船の活用について（まち営業課）
- B I Z E N食のアンバサダーの活動について（まち営業課）
- 農業委員会法改正に伴う条例の整備について（まち産業課）
- サイクリングロード事業について（まち整備課）

総務産業委員会記録

招集日時	平成29年2月16日（木）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時27分	開会　～	午前9時54分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	閉会中の開催		
出席委員	委員長	山本恒道	副委員長	森本洋子
	委員	田原隆雄		尾川直行
		津島　誠		守井秀龍
		石原和人		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等		なし		
	委員外議員	なし		
	紹介議員	なし		
	参考人	なし		
説明員	市長室長	今脇誠司	秘書広報課長	藤田政宣
	危機管理課長	柴垣桂介		
	総合政策部長	佐藤行弘	企画課長	野道徹也
	まちづくり部長	中島和久	まち産業課長	小川勝巳
	まち営業課長	田原義大	まち整備課長	尾野田瑞穂
傍聴者	議員	掛谷　繁	星野和也	
	報道関係	あり		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前9時27分 開会

○山本委員長 おはようございます。

ただいまの御出席は7名です。定足数に達しておりますので、これより総務産業委員会を開会いたします。

***** 商工業についての調査研究 *****

本日の委員会は、商工業についての調査研究で招集させていただきましたが、以前より委員の皆さんから御要望がございました企業訪問の実施をいたしたいと思えます。

つきましては、直ちに執行部からの報告をお受けし、委員会を閉会の後、市内企業に委員を派遣したいと思えます。

なお、派遣先は大鵬薬品工業株式会社岡山工場及びNTN株式会社岡山製作所と事前に調整させていただいておりますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのように決定し、直ちに委員派遣要求を行います。

***** 報告事項 *****

続いて、報告をお受けします。

○藤田秘書広報課長 それでは、備前市と三股地区とが争った平成28年（ネ）第14号国家賠償請求控訴事件の判決内容について、簡単に概要を説明させていただきます。

お手元にお配りしております資料をごらんください。

まず、本件に係る経緯としまして、三股地区から起こした訴訟の概要、それに対し平成27年12月16日に言い渡しがあった原審判決内容を載せております。それを不服として備前市は平成27年12月16日に控訴をいたしました。控訴を申し立てた趣旨につきましては、控訴審判決内容の主文に記載しているとおりでございまして、それが認められ平成29年2月2日の判決の言い渡しに至ったということでもあります。

以下、本訴訟の争点等を記載しております判決文に沿って要約したものでございますので、後ほどごらんいただきたいと思えます。

また、上告の期限は本日までとなっておりますが、本市の代理人弁護士からは既に2月13日付で三股地区から上告及び上告受理申し立てを行ったとの情報を聞いております。

○柴垣危機管理課長 それでは、危機管理課から伊里駅駐輪場整備工事について御報告をいたします。

27年度事業で計画をしておりました伊里駅駐輪場整備工事でございますが、伊里駅前のロータリー部分を含めた一体整備として28年度に繰り越しをさせていただいております。しかしながら、関係者との協議に時間を要しましてこの28年度内での完成が見込めません。ついては、伊里駅前の一体整備とは別に考えまして、駐輪場整備工事として新年度に計画をしていきたいというふうに再検討をしております。

繰り越しをしました事業が完了しないということはあるのではないかとあります。今後、

このようなことが起きないように計画段階からしっかりと調整をさせていただきたいと思います。まことに申しわけありませんでした。

○野道企画課長 企画課より2点、御報告いたします。

まず、備前市過疎地域自立促進計画の変更についてでございますが、計画に記載のあります市道香登4号線拡幅事業の計画に変更が発生したことから、変更議案を3月定例会に提案させていただきますので、御審議のほどよろしく願いいたします。

それから、2点目といたしまして先般、大塚製薬株式会社様より連携協定の提案がございました。提案のあった連携協定の主な内容ですが、健康づくり、熱中症の予防、それからスポーツの振興、食育の推進、災害の支援などの分野でありまして、関連部署と協議を行い、連携できる事業があることから協定を結ぶことといたしました。

調印式のほうは2月27日に行う予定となっております。

○田原まち営業課長 まち営業課のほうから4点ほど報告及びお願いを申し上げます。

まず、1点目ですが、字、区域名称変更について報告申し上げます。

現在、企業用地造成事業において分譲する畠田香登西団地約2.6ヘクタール及び香登本団地1ヘクタールのそれぞれの団地内において、土地を合筆整理するため字の区域、名称の変更を行います。これは、地方自治法の規定により議会の議決が必要でございます。3月定例会へ議案として提出させていただきますので、よろしく願いいたします。

また、畠田香登西企業団地の造成工事の変更についてでございますが、場合によっては議案として提案させていただくこととなりますので、御審議のほどよろしく願いいたします。

次に、市有船の活用について御連絡申し上げます。

現在、備前市が定期船に使用するものとして公共交通課所管で建造している船ですが、本年度中に建造が完了する予定でございます。しかしながら、航路許可の関係で定期船としてはすぐには就航できないと聞いており、10月以降との見込みでございます。そういうこともあり、この船を定期船の利用だけでなく、観光船としても利用できればと考えておりまして、現在中国運輸局との協議、船舶運航事業者等の意見を伺いながら準備を進めております。運航の申請、許可の関係もございまして、いつから就航ということは現段階では不明でございますが、できるだけ早い段階での運航ができればと考えております。

運航については、市が市有船を運航事業者に貸し出して運航事業者に運航してもらう形を考えており、市は関係者等と協議しながら新たな魅力の創出、地域活性化にこれをつなげてまいりたいと考えております。

関係事業費につきましては、当初予算で計上させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

次に、BIZEN食のアンバサダーの活動について御報告申し上げます。

昨年、BIZEN食のアンバサダーに任命した頭島レストランのオーナーシェフ寺田真紀夫氏でございますが、こちらの活動について簡単にまとめた資料を配付させていただいております。

今後も地域食材の魅力を積極的に発信していただきたいと考えておりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

○小川まち産業課長 まち産業課から報告させていただきます。

平成28年4月1日に農業委員会法が改正されました。それに沿いまして3月議会に備前市農業委員会の委員等に関する条例についてを提案させていただく予定でございます。

内容につきましては、まず農業委員のほかに農地利用最適化推進委員と2つの委員に分かれるということでもあります。農業委員につきましては、これまでは公選制でしたが、この改正によって、皆さんから応募、推薦なり公募をしていただき、その中から選定委員会で選定し、議会の同意を得て市長が任命をするということになっております。農地利用最適化推進委員につきましては、これも公募の中で新しくなられた農業委員の方々が審議して選定をするということになっております。それに合わせて、農業委員会選定委員会の設置についてもあわせて提案をさせていただく予定であります。

○尾野田まち整備課長 私からサイクリングロード事業につきまして報告させていただきます。

岡山県では、爽快！岡山満喫サイクリングロード事業を行っております。この事業で備前市に関係のありますサイクリングロードとしましては、日生津山ルートが選定されております。県では、サイクリングロードのルートの整備としまして28年度から路面標示、方向標示、距離標示の整備を行っております。その中で市道部分につきましては市のほうで施工ということになっており、市内の市道11カ所を整備させていただきましたので報告させていただきます。

ちなみに、整備しましたところは片上地区であります。木村病院の前あたり、それから頼実耳鼻科医院の前あたり、それから日生地区で日生病院の地区のあたり、それから頭島のしおまち交流館前のあたり、以上の箇所11カ所を整備させていただいております。

○山本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

今の件について質疑のある方は。

○田原委員 伊里駅前の駐輪場整備工事が延びたということなんですけど、どういう支障があって難航しとんですか。

○柴垣危機管理課長 伊里駅前のロータリー部分を一緒に整備するというので計画をしておりましたが、一部JR用地についてまだ用地取得ができておりませんので、ロータリー部分を合わせた計画という中では計画がちょっととまっている状態なんですけど、駐輪場を整備しようというところについては用地の取得は既にもう完了しておりますので、それについては次年度で再度計画化していきたいというふうに考えております。

○田原委員 わかりました。参考のためにまた平面図を見せてください。

○柴垣危機管理課長 まだ構想的な段階ではあり、最終段階ではありませんが、まち整備課長、よろしいでしょうか。

○尾野田まち整備課長 まだ完全にできたものではないので、それができましたら御提示させて

いただけたらと思います。

○田原委員 大変不満です。できてからじゃなしに、こういうようなことを考えているんだということを見せるのに何が差し支えがあるわけ。

○尾野田まち整備課長 それでは、今の段階での図面を示させていただきます。

○田原委員 それで結構です。

○山本委員長 よろしく申し上げます。

ほかに何か。

○田原委員 市有船の活用なんですけども、観光船として活用、それは結構だと思うんですけども、10月まで船を大生汽船に貸し与えると。営業についてはそちらが自由にせよということなの、それとも役所が何か計画をしてこういうようなほうに使うてくれというのか、その辺は。

○田原まち営業課長 現在、市のほうでお願いしたいというのは、定期的に観光船で出す部分について事業者をお願いしたいと考えております。それ以外に例えば予約をとって事業者のほうで運航していただくということについては、定期船の運航に支障のない範囲において事業者のほうで活用していただくというような形で考えております。

○田原委員 内容はわかるんだけど、その経費の問題。向こうが自主運営して経費は向こうが持つのか、こういうことを幾らでしてほしいという要望をして運航をするのか、その辺ですよ。

○田原まち営業課長 定期的に運航していただく部分については、当然人件費等が発生しますので、市のほうから補助金という形でしていただくというふうに考えております。事業者のほうで値段を設定して予約運航ということになりますと、欠損が出ない形で補助金の対象にはならないような形で運航していただくというふうに考えております。

○田原委員 そしたら、もう独自で大生汽船なら大生汽船が、メニューを発表して使ってもらうことについて市は認めるということ。

○田原まち営業課長 はい、市有船を観光船として活用していただくということで、もちろん貸し出しという形で考えております。

○山本委員長 ほかに。

○尾川委員 サイクリング事業のことなんですけど、標示も一長一短あって、何でというて言う人が多いわけです。それで、新聞には前、出とったんじゃけど、この辺のPRというのはどういうふうに考えとんですか。

○尾野田まち整備課長 PRにつきましては岡山県のほうでやっただけしていると思うんですけど、その中の一環として備前市として今回路面標示をしたということでございます。

○尾川委員 その辺は岡山県全体の話じゃから、えろう時間がねえからあれじゃけど、備前市としての主張をしてほしいと思う。

それともう一つは、前からいつも言ようる同和鉱業の跡地の問題。通ってみてもおかしいと思わん。あれを何とか県と話をして、県も動いてもらうて、県がそのルートを決めとんじゃから、その辺はどんなかな。

○尾野田まち整備課長 同和鉱業の土地につきまして用地交渉の話をしたと思いますけど、その辺ができましたら検討協議したいと思います。

○尾川委員 ぜひもう少し前向きに、それは市が出すんか県が出すんか、そのあたり県がこういう事業をする言よんじゃから、向こうは言葉だけかもわからんけど、裏づけがねえんかもしれんけど、そのあたりをしっかりとこの機会にやってくれるんじやろう思うとったわけじゃ。じゃから、その辺をもっと積極的に取り組んでほしいと思います。

○尾野田まち整備課長 サイクリングロードにつきまして、一応もう路線の指定はされておりますので、同和鉱業の土地につきましてはまた別途にはなるとは思いますけど、その辺は検討していきたいと考えております。

○尾川委員 よろしゅうお願いします。

○田原委員 この道路というのは、路線がここからここという図面がもうできているわけ。

○尾野田まち整備課長 はい、路線は決められております。

○田原委員 それを見せてください。

それから、何か整備をしたというのは何カ所か具体的に名前が上がっていましたが、どんな整備をしたわけ。

○尾野田まち整備課長 路面標示として主に交差点部分ですね。こちらへ行ったら和気とか、こちらへ行ったら日生とか、そういう路面標示と、それから和気まで何キロメートルとか、日生まで何キロメートルとか、そういう標示をしております。

○田原委員 標識をつくったということ。

○尾野田まち整備課長 舗装の上にそういう面を書いたということでございます。

○田原委員 道路の路線を教えてください。見せてください。

○尾野田まち整備課長 岡山県がホームページに載せておりますので、それをまたお示ししたいと思います。

○守井委員 市有船ができて運用が10月以降になるという話だったんですけど、できるだけ早く利用するようにと考えているというのは大体6月ぐらいを考えられとんかな。

○田原まち営業課長 市有船の定期船としての活用については、航路の関係で10月以降になるのではないかというふうにお伺いしております。観光船として利用するのにも実際に船ができ上がって検査というか、運輸局の許可が要ります。できるだけ早くしたいのですが、その許可がおりてからということになりますので、こちらとしましてはできるだけ連休前とか、そういった形で目指してやっていきたいと考えております。

○守井委員 連休前ぐらいのことを考えておるという解釈でよろしいですね。はい、わかりました。

○尾川委員 それに関連して、どのくらいコストがかかるんか。両備なんかの御座船というのも売り飛ばしたんじゃからな。それを市が全部負担するということじゃと思うんじゃけど、一体どのくらいコストがかかるかということをやんとそのときに提出してみて。それで、何ぼで貸す

んか、市が運用するんかようわからんけど。市がどのくらい負担するんか知らんけど、何ぼか負担せな動きゃへんじゃろうし、その辺を明確にしてください。

○田原まち営業課長 市有船を貸し出しする貸出料と、あとはお客様からいただく運賃、そのあたりも現在検討中ございまして、わかり次第また御報告申し上げたいと考えております。

○尾川委員 ですから、当初予算に出てくるから、そのぐらい算出しとると思うんで、至急教えて。

○田原まち営業課長 はい、当初予算への計上で検討をしているところでございます。具体的には現在のところ午前中に1回、午後に1回という形で半日程度の拘束を土曜日、日曜日、祝祭日ということで定期的に動かす部分については考えております。トータル費用が330万円程度で算出しておりまして、運航収入が1日10人乗ると仮定しまして90万円程度ではないかという試算をしておるところでございます。1日当たりの経費といたしましては3万5,000円から5万円の間ぐらいではないかと今の段階では考えておりまして、それが半年間でございますので45日間というような形で考えております。

○山本委員長 よろしいか。

〔「まだあるけど、もう時間がないからええわ」と呼ぶ者あり〕

それでは、報告事項に対する質疑を終了します。

以上で本日の総務産業委員会を閉会いたします。

午前9時54分 閉会